気を緩めずに感染症対策を！

新型コロナウイルス感染症について、福島県のまん延防止等重点措置が９月 30 日で解除となり、10 月１日から県内全域で感染拡大防止のための基本対策へ移行しました。

ワクチン接種後の発症予防効果はとても高いとされていますが、感染を 100％防げるものではありません。さらに、これからインフルエンザが流行する季節を迎えますので、感染者数が減少傾向となっても油断せず、リバウンド・再拡大を防ぐためにも、引き続き感染対策を心がけましょう。

Point! 01 飛沫感染＋接触感染に注意！

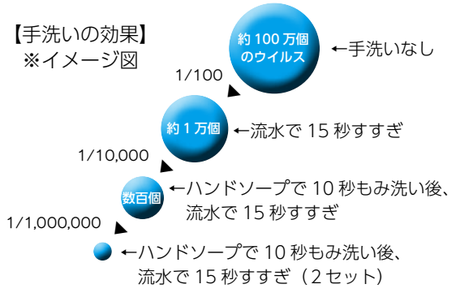
新型コロナウイルスの感染経路として、飛沫感染のほかに接触感染に注意が必要です。人は日常生活の中で目をこすったり鼻をかんだりと無意識のうちに顔を触っており、目、鼻、口などの粘膜から感染する恐れがあります。

粘膜からの感染に注意！

Point! 02 丁寧な手洗いでウイルス減少

水とハンドソープによる手洗いで、手指に付着したウイルスを確実に減らすことができます。時計や指輪は外し、爪の間や手首も忘れずに洗いましょう。洗い終わったら、清潔なタオルやペーパータオルでふき取り、よく乾かしましょう。

【手洗いの効果】
※イメージ図



Point! 03 正しいマスクの着用を！

マスクを着用しても、鼻を出していたり、あごにかけていては効果がありません。マスクは正しく着用し、着けた後はマスクの外側は触らないようにして、ひもを持って着脱しましょう。できれば品質の確かな、不織布のものを使用しましょう。

①鼻の形に合わせ、すき間をふさぐ

②あご下まで伸ばし、顔にすき間なくフィットさせる

Point! 04 目指そう！「ゼロ密」

「３つの密（密閉・密集・密接）」が重ならない場合でも、感染のリスクを低減するため、できる限り「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも密集・密接には注意し、人混みに近づいたり大声で話しかけることは避けましょう。

密閉 ×
密集 ×
密接 ×

どれか１つの「密」でも避けましょう

新型コロナウイルスワクチン Q&A

Q なぜワクチンを打った方がいいのでしょうか？

A 感染そのものを防ぐ効果があるほか、感染しても重症化しにくく、人にうつす可能性を減らす効果があるためです。

Q SNS やニュースでコロナワクチンが危険と取り上げられていて不安です。どの情報を信じたらいいのでしょうか？

A 厚生労働省のホームページなど、できるだけ公的機関からの情報を確認しましょう。

Q 接種後に変異ウイルスに感染すると重症化しやすい（抗体依存性感染増強（ADE）になりやすい）のは本当ですか？

A 現在までに、新型コロナワクチンを接種した方で抗体依存性感染増強（ADE）が生じたという報告はありません。

Q ワクチンを接種すると、自分の体や将来持つ予定の子どもに影響がありませんか？

A ファイザーやモデルナのワクチンはヒトの細胞の核の中には入れず、遺伝情報に組み込まれることはありません。

Q ワクチン接種は不妊や流産のリスクを高めますか？

A 男女を問わず、ワクチンを原因とした不妊や流産のリスクがあるという科学的な根拠はありません。

新型コロナウイルスワクチンの接種について

鏡石町では現在 12 歳以上の方を対象としてワクチン接種を進めております。予約方法などについては町のホームページを確認いただくか、下記までお問い合わせください。

なお、紛失等によりお手元に接種券がない方については再発行いたしますので、下記までご連絡ください。

町のワクチン接種率（令和３年９月 30 日現在）

対　象	対象者数	接種済者数	接種率
65 歳以上（１回目）	3,637 人	3,397 人	93.40%
65 歳以上（２回目）		3,377 人	92.85%
65 歳未満（１回目）	7,712 人	5,445 人	70.60%
65 歳未満（２回目）		4,454 人	57.75%
全　　体（１回目）	11,349 人	8,842 人	77.90%
全　　体（２回目）		7,831 人	69.00%

（対象者数は令和３年８月 15 日現在の住民基本台帳による。ただし令和４年３月 31 日時点の年齢により集計している）

【町からのお願い】

ワクチン接種は任意であり、自らの意思で受けていただくことになります。接種していない人への接種の強制や不利益な取り扱いは、決して許されません。皆様のご理解とご協力をお願いします。

●**問い合わせ先**　【ワクチンに関する一般的なこと、接種券の再発行について】　健康環境課　☎ 62-2115
【接種の予約に関することについて】　鏡石町コールセンター　☎ 0120-006-873